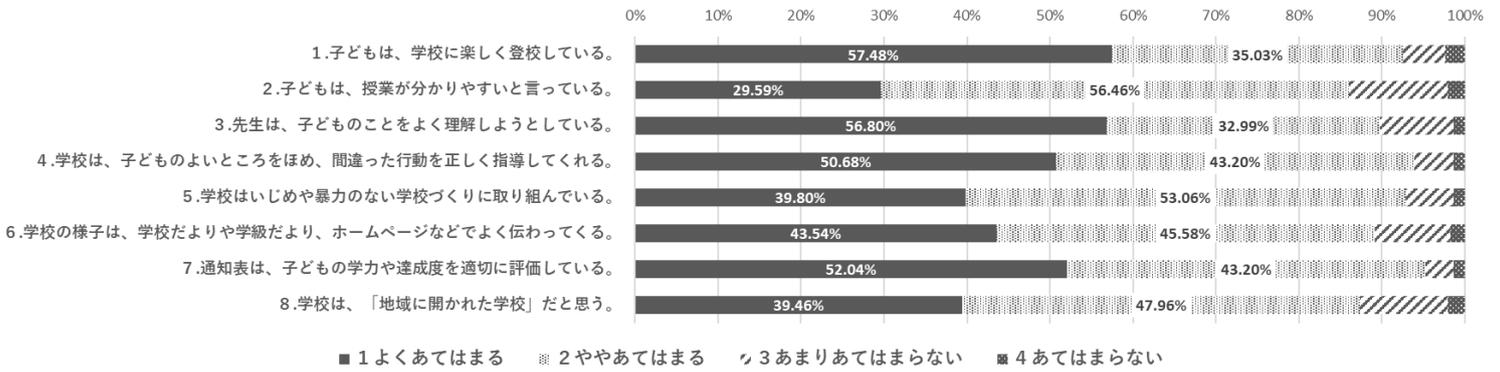
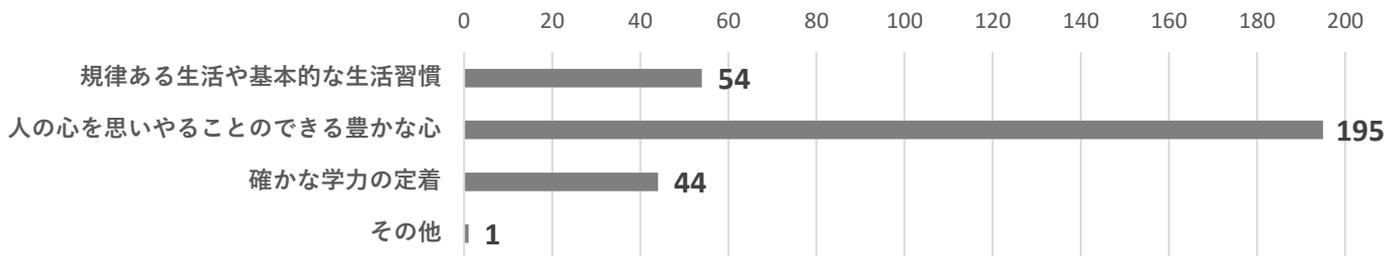


## 教育活動に関するアンケート結果(令和6年12月実施) 全保護者対象



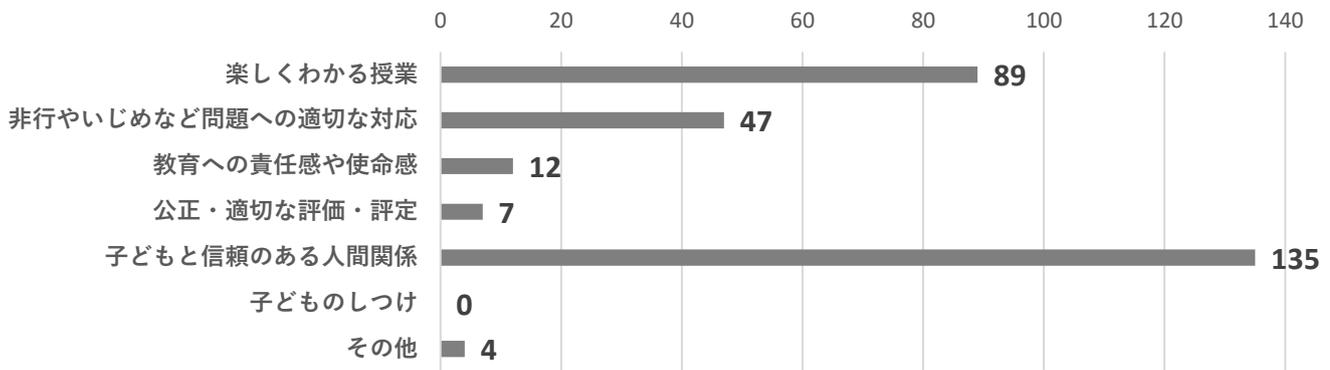
## 9.学校には、子どもにどのような力をつけてほしいと考えていますか。



その他 1

- ・家庭で大切なことを学び、学校で、広く、深く学んでいくことが大事だと考えています。(4年)

## 10.先生に望むことは、どのようなことですか。



その他 : 4

- ・自分も大切だから、あの子ども大切という自分を中心とした多様性への理解の促進(1年)
- ・自分を大事に、相手も大事に、の気持ち。多様性を受け入れるところ(4年)
- ・上記回答例は、当たり前のことかと思います。(6年)

ご協力ありがとうございました。

## 学校関係者評価及び学校自己評価（教職員）の結果（令和6年12月実施）

○評価していただいた学校関係者は、学校運営協議会委員様及びPTA本部役員様です。

○各項目について4段階評価をしました。（4：達成 3：おおむね達成 2：やや不十分 1：不十分）

○数値は平均値です。

No	評価項目	学校関係者		教職員	
		評価	説明及び改善策	評価	説明及び改善策
1	学校は、特色ある学校づくりに取り組んでいる。	3.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日更新される二小 NEWS から学校の特色が読み取れる。製作者の努力に感謝する。</li> <li>たてわり活動は今後も続けてほしい。交流があることで学ぶことや思いやりの心が生まれると思う。</li> <li>「学校の木」がない。選定の過程に地域も参加する。</li> </ul>	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内放送で児童や教職員に意識的に周知しているように思う。</li> <li>たてわり活動に力を入れた。</li> <li>「異学年交流」を大事にしている。各学年2クラスという学校の実態にも即している。様々な学校行事や各教科の教育活動に反映されている。</li> </ul>
2	学校は、積極的に生徒指導に取り組んでいる。	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>連携は、学校・地域双方の熱意が必須である。</li> <li>自治会との懇談会など工夫が必要である。</li> </ul>	3.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>こまめに家庭と連絡を取り合い家庭訪問や面談など、学校の方から働きかけているように感じる。</li> <li>教職員が各家庭と連絡をとっている姿をよく見る。</li> </ul>
3	学校は学校教育目標の実現に取り組んでいる。	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの長所を進展させる一層の工夫が必要である。</li> </ul>	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業時数集計は毎学期ある。</li> </ul>
4	学校は、学力向上に取り組んでいる。	2.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>タブレットの使用時間制限、アクセス履歴の集計、統計データを公表する。</li> <li>夏休み宿題のタブレット使用は考え直してほしい。</li> <li>タブレットに頼りすぎると授業時間のロスにならないか。</li> </ul>	3.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>算教科においては習熟度別学習を行っている。タブレットは、学習の中で毎回活用している。</li> <li>ICTを活用した授業の展開を通して、学びの質を向上させたい。</li> <li>単元によって、教具が少ないと感じる。教具がそろうと授業の充実につながる。</li> <li>タブレットを活用した授業を推進している。</li> </ul>
5	学校は豊かな心を育む授業に取り組んでいる。	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>スズムシ、バッタ、アリなど小動物教育の充実が必要である。</li> <li>音楽会での担任と子供たちとの「約束のエピソード」を呼んで昭和時代の学園ドラマを思い出した。豊かな心の子供たちがたくさん育っていくと思う。</li> </ul>	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画としてあるが、各学級の実施状況がつかみにくいため授業公開をしてもよい。</li> <li>道徳教育がよりさかんになるように研修をしていくなど工夫が必要である。</li> </ul>
6	学校は、「規律ある態度」の育成に取り組んでいる。	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>「あいさつ」は誇れるほどに徹底されている。</li> <li>個によって生活環境や生育環境が異なるので、個に応じた指導は大切である。子ども一人一人を理解したうえで、寄り添った指導の一步が始まる。</li> </ul>	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分自身に置き換えてみると「規律ある態度」の育成は十分ではない。信頼関係を築いた上でのことと感じる。</li> <li>教師自身が手本となり、児童に適宜声をかけ、指導はその場で、そののち担任に報告し連携を図っている。指導の一本化をさせる。</li> <li>「あいさつ日本一」を目指している学校だけに、あいさつはよくできている。</li> <li>あいさつ、特に声を出すことが課題である。</li> <li>教師自身もあいさつ、言葉遣い、服装、食事マナー等、児童に見られている意識を持ちたい。</li> </ul>
7	学校は、児童生徒一人一人を大切にしている。	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>「悩みや相談」累計データ分析が必要（保護者への提供も一考）である。</li> <li>命を大切にする教育の重視や親身になって子どもの話を聞く先生が多い学校は素晴らしい。</li> </ul>	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業や休み時間、頑張っている児童を認め、声をかけ、担任にも報告している。</li> <li>教師の日々の児童と向き合う姿勢を感じる。</li> <li>児童の話を親身になって聞く教師が多いような印象がある。</li> <li>「もっとやらないといけない」と思う場面がある。</li> </ul>
8	学校は、「健康・体力」の目標達成に取り組んでいる。	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人別「運動量の累計」手帳の作成が必要である。</li> </ul>	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝運動の充実や体育の授業を計画的に行っていると思う。</li> <li>教師一人一人が体育授業に関して運動量を確保するよう意識づけが必要である。</li> <li>5分間走を週2回実施を確保し、体力向上に励んでいる。投力の向上が課題である。</li> </ul>
9	学校は、学ぶ環境づくりに取り組んでいる。	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書情報（新着・廃棄）のホームページ掲載（寄贈図書も）</li> <li>優しい言葉づかいや話すときの表情、相手への伝わりやすい言葉等、先生方にお手本となしてほしい。</li> </ul>	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員会議で定期的に学習環境についての声かけがある。</li> <li>清掃活動はしっかりしている。</li> </ul>
10	学校は安心・安全な教育環境づくりに努めている。	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>「危険教育」事例分析の充実が必要である。</li> </ul>	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員会議で定期的に学習環境についての声かけがある。</li> <li>避難訓練が、年々具体的・実践的になっていると感じる。児童も災害時の第一行動が身についていると感じる。</li> <li>安全教育部の教師中心に安全点検がなされている。</li> </ul>
11	学校は開かれた学校づくりを目指し、家庭・地域社会に積極的に情報提供を行っている。	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページのアクセス数の分析が必要である。</li> <li>ホームページの更新が頻繁にあると、学校の運営に熱心であるように感じる。</li> </ul>	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>校長が毎日、ブログを更新してその日の出来事を発信している。</li> <li>ホームページを活用している。</li> </ul>
12	学校は、家庭・地域社会と連携協力し、問題解決に取り組んでいる。	3.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>不登校・いじめ等の不利な情報には、傾向の折れ線グラフが必要である。</li> </ul>	3.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>防犯パトロールや登校指導、PTAとの交流など、家庭・地域との連携は感じられる。</li> </ul>